



交通安全教室

(9) 交通安全・防犯対策の充実
子どもからお年寄りまでが安心して暮らせる明るいまちづくりのために、町民意識の高揚に努め、交通安全・防犯活動の活性化、安全設備の整備、身近な相談・援助体制の充実に取り組みます。



消防団活動

6 「地域自治と協働のまちづくりを進めよう」

全国各地のNPO（民間非営利組織）や地縁組織（自治組織、各種団体等）の自主活動は、子育てや介護などの福祉分野にとどまらず、防災、教育、産業、地域活性化まで、さまざまな分野にその活動範囲を広げています。また、まちづくりに対する人々の関心も高まり、新しい協働のまちづくりが始まっています。

本町でも、公民館や町民組織を中心に、さまざまな地域活動のさらなる活性化を支援していきます。また、「まちのことは自分たち町民が決めて実践する」という、町民自治意識の醸成に努めます。こうした取組みを通じて、町民・地域・関係機関・行政がまちづくりにおいてそれぞれの役割と責任を担い、あらゆる分野で協働・連携した本町に相応しい協働社会の実現を目指します。

(1) 地域活動の活性化

集落内の連携強化、コミュニティ活動支援事業の充実、集会所整備、公民館活動の充実などの集落機能の強化支援や地域活動の環境整備を図るとともにボランティアやNPO活動といった町民の自主活動の活性化に取り組みます。



集会所の整備

(2) 協働のまちづくりの推進
本格的な地方分権時代の地域の発展を目指して、町民がまちづくりに主体的に参画し、町民・地域・行政が一体となった協働のまちづくりを推進します。

町民と行政との情報共有化とともに、行政政策や事業における多様な町民参画と民間活力の積極的な導入に努めます。また、指定管理者制度の活用など行政改革大綱に基づき行政事業のサービス向上や事務事業の効率化・迅速化に積極的に取り組みます。

平成19年第1回 鬼北町議会臨時会

平成19年第1回鬼北町議会臨時会が2月10日に開催され、議案1件、同意1件が提出され、原案のとおり可決されました。

議案

◇平成18年度鬼北町一般会計補正予算(第5号)について
3,790万円を追加し、予算の総額を69億960万円にしました。

同意

◇鬼北町教員委員会委員の任命について
鬼北町教育委員会委員の水野昭三氏の任期満了に伴い、後任者として、町民課長であった芝田正文氏の任命に同意しました。

なお、2月24日開催の鬼北町教育委員会で、芝田正文氏が教育長に任命されました。



芝田正文氏(畔屋)